

# 環境調和型社会の実現に貢献できる人材の育成

大

学

院

ノ

ユ

ー

ス

No.39

福岡工業大学  
大学院事務局  
2020.3

社会環境学専攻は、文系の大学院として、経済経営・法政策の社会科学を基軸とする修士課程のみの大学院です。

社会科学系の大学院には、大きく分けて2つの種類があります。一つは、学部・学科の延長として、より高度な研究を行う研究者養成を目的とする大学院。今一つは、専門職大学院と呼ばれ、学部・学科とは、分離した学問体系で高度な専門性を備えた職業人を育成することを目的とする大学院です。前者の大学院については、学部・学科からの内部進学者や同様の学問体系の既修者の進学者によって多くが占められます。そのため、大学学部を新規に卒業した人によって占められる場合が多いです。一方、後者については、特定の学問体系に縛られることなく、幅広い分野の既修者を対象とし、より実践的な高度でかつ専門的な知識を修得することを念頭に置いています。そのため、社会人を中心として、実務経験者や新規学卒者、既婚女性など、幅広い人々によって占められることが多いかと思えます。

私は、これら二つの種類の大学院のいずれも通った経験があるのですが、いずれの大学院においても、貴重な経験を得ることができたと確信しています。前者の大学院では、研究者としての基礎研究能力を培うことができたと思えますし、後者の大学院では、応用研究としたい分野について見識を深めることができたばかりか、その分野に関連した実務経験者との交流を深めることができました。

翻って、本学の社会環境学専攻については、学問体系としては、前者の学部・学科の延長と

メッセージ

第6代社会環境学研究科長

松藤 賢二郎 教授 博士（経営学）



## プロフィール

- ◆所属  
社会環境学部社会環境学科、社会環境学研究科社会環境学専攻
- ◆所属学会  
日本マネジメント学会、日本医療マネジメント学会
- ◆最終学歴  
東北大学大学院
- ◆研究分野  
経営学
- ◆研究キーワード  
ベンチャー、経営戦略、マーケティング、病院経営、経営管理、マネジメント
- ◆趣味・特技  
ミニバイクの整備  
(高校生の頃から続けています。)

しての大学院の特徴を持っています。しかしながら、在籍している大学院生の多くは、留学生が多くを占めており、経済学部や観光学部、外国語学部など、幅広い学問を修得してきた学生によって占められています。つまり、捉え方によっては、2つの大学院としての側面を持っていると言えます。

また、社会環境学専攻では、環境調和型社会の実現に貢献できる人材の育成を目標として、12名の博士号を有する専門の先生方が、大学院の授業を担当し、また大学院生の修士論文の指導に従事されておられます。もちろん、12名の先生方の経歴も様々であり、環境に関する研究テーマで共通な面もありますが、基本的には、それぞれの先生方が異なった分野、異なった研究テーマを研究されています。

つまり、大学院生にとっては、環境に関する限りで、特定の研究分野に限定されない、知的欲求を喚起される機会に恵まれるのではないのでしょうか。ちなみに、私は病院の経営に関する研究を行っていますが、近年、大学院生の指導を通じて、小売業やサービス業といった他業種、日本企業のグローバル化など、業種の垣根を越え、研究領域の拡大を図ってきています。つまり、大学院生が研究意欲を持って、本学大学院へ進学し、持ち込んでくれる研究テーマによって、大学院生とともに修士論文の作成に向けた研究活動の支援を通じて、半学半教の精神を具現化できているのではないかと。

環境に関連して、知的好奇心を持った学部生に是非、恵まれた大学院の環境を享受してもらいたいです。

メモ

社会環境学研究科は2007年（平成19年）4月に発足し、今年14年目を迎えます。これまでの入学者数は69名、修了者数は今春3月修了見込みを含め54名に達しました。本研究科は経済経営、法・政策、人間生活という3方向からのアプローチによって、複雑で重要な環境問題を解明しようと、研究・教育の活動を行っています。

## 大学院生の英語力向上のため 学内 TOEIC 試験をフル活用し、点数アップ

2019年度福岡工業大学内で TOEIC IP テストが6回実施されました。全大学院生の70%となる110名が受験、最高スコアは960点でした。また半数以上が複数回受験をし、140点も点数がアップした学生もおりました。

グローバル化が急速に進む社会では、専門スキルに加え、高い英語力を持つ大学院修了者が求められます。今後も本学大学院はこの課題への取り組みを強化していく予定です。

## 国際宇宙ステーションというでっかいスケールで 生命の起源解明へ

修士課程 生命環境化学専攻 1年

白水 まどか さん (三田 肇 研究室)  
(福岡市立福岡西陵高等学校)

### ◆◆プロフィール◆◆

福岡市内の離島出身です。

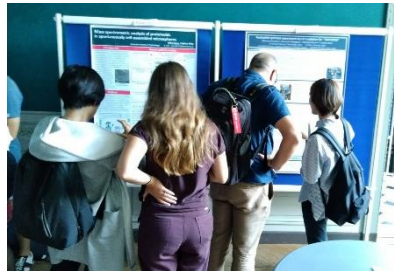
趣味は、音楽、ミュージカル観劇、絵画展などの芸術鑑賞、星空観察、神社仏閣・日本庭園巡りなどなど。音楽はBUMP OF CHICKENが一番好きで、ライブには年に4回行ったこともあります！ミュージカルも多いときには年に3回ほど観に行きます。レミゼは最高です。

### ◆◆研究について◆◆

【テーマ】国際宇宙ステーションを利用したヌクレオチド合成実験の予備検討

本研究は生命の起源を探ることを目的としていて、ヌクレオチドというDNAやRNAを構成する物質を、原始地球(生命が誕生する前の地球)環境で合成できるかどうかを実験しています。合成のエネルギー源は紫外線のみです。

また、実験室での実験だけではなく、国際宇宙ステーションでの実験も計画されています。国際宇宙ステーションとは、宇宙飛行士の方々が滞在している宇宙を飛行している施設です。本研究の面白さは、研究が進めば生命の起源が分かるかもしれない、実験で国際宇宙ステーションに関わるといふスケールの大きさです。宇宙で行う実験に関わる事ができるというのは、私が本研究に興味を持ったきっかけでもあります。



2019年9月 フランスでの国際学会で  
ポスター発表中 写真右側が白水さん

### ◆◆大学院進学について◆◆

私が大学院進学を考えたきっかけは、希望する化学系企業の研究職に就くには大学院に進学した方が有利だと考えたことからです。そしてタイミングよく「奨励金支給制度」の話を頂きました。学生支援機構の奨学金だけでは生活が厳しく、本制度が無ければ諦めていました。

進学後は、講義を受けると同時に研究を進め、国内外の学会に参加・発表しています。2019年の1年間で、2つの国内学会と2つの国際学会に参加しました。

このように、発表の機会がかなり増えたことで、プレゼンテーション能力が一番成長したと思います。言葉選びやデータの見せ方、スライド・ポスターの作り方、話し方を常に試行錯誤しながら準備することで、自然と身につけていきました。まだまだ未熟なので、これからも向上心を持って取り組んでいくとともに、国際学会のためにも英語を勉強していきます。

### ◆◆今後について◆◆

まずは就職活動について、希望する企業に希望する職種で採用していただけるように、事前準備からしっかり行っていきます。就職課によるトップアップ講座も積極的に活用しています。

研究については、おそらく修士1年のときと同じ数の学会に参加することになると思うので、学会準備をしながら研究を進めていきます。最終的には、修了までに論文を投稿したいと思っています。

## TAは学部生達の心強い見方

修士課程 情報通信工学専攻 1年

小原 聖司 さん (パロリ レオナルド 研究室)

(大分県立爽風館高等学校)

### 研究テーマ

負荷分散を考慮した無線メッシュネットワークのためのメッシュルータ配置最適化システムの実装と評価

### 【自己紹介】

将来の夢：海外に通用するエンジニアになること

趣味：楽器演奏、コーヒー、卓球

好きな味噌汁：なめこ汁

### 担当したTA科目：計測・回路実験、情報工学基礎実験

#### 1. 専門知識の再確認・習得



TAをしていると専門知識や経験が蓄積されやすいため、非常に勉強になります。私が得意とするネットワークについての実験では、学部生へと正確に教えるために、普段の研究で当然のように扱っていてあまり意識しない部分についても細かく仕様などを把握しておく必要があります。そのため、TAの業務中や普段の研究の際に意識的な復習を行うようになりました。復習を心掛けていると段々と実験中に発生した未知のエラーに対する対処法なども見当がつくようになるので、経験の蓄積という意味でもTAは学びがあります。また回路についての実験では、普段研究で扱わない部分も多いのでTAをする度に少しずつ知らなかったことを学習することができています。

#### 2. 教える能力の向上

TAは教える力を養うことができます。大人数を相手に、誰がどのように困っているのかを考えながら指導を行うという機会は貴重だと思います。学生の理解速度は一人一人違うので、TAはこまめに各学生の様子を観察する必要がありますが、これにより洞察力を鍛えることができます。最近は学生が理解できていないポイントを早めに察することができるようになり、すんなりと理解してもらえることが増えました。もちろん、複雑な物事をシンプルかつ丁寧に教える方法を考えるのは大変ですが、学生に笑顔で感謝されたときは非常に嬉しいです。

#### 3. 経済的メリット

TAは空きコマを活用することができ給与も高いので、経済的にも非常に助かっています。通常のバイトと違い、移動コストがかからないのが大きな強みです。TAや奨学金などを活用して研究業績を積みば親へ負担をかけずに大学院に通うことも可能なので、学部時代に金銭面で大学院進学を諦めかけていた私も安心して進学できました。

**用語の解説** TA  
(ティーチングアシスタント) 制度とは  
A：学部教育の向上、並びに大学院生の指導力の向上を目的として、大学院生を学部教育の補助として採用する制度です。TAは様々な工夫を行い、学部生の皆さんの授業理解をサポートします。一方で、TAには手当が支給され、大学院生への経済的支援としての側面も併せ持っています。